

大井ふ頭中央海浜公園および潮風公園の整備を求める要望書

品川区議会では平成26年度よりオリンピック・パラリンピック推進特別委員会を設置し、区内競技場のあり方の議論を進める中で、

- ・ 現存の施設の改修や、新設を予定する競技場の整備にあつては、大会後の後利用も含めて多面的な活用が図れるよう、中長期的な目線での計画をたてていくべきである。
- ・ 上記の整備にあつては、外国人観光客や障害者等をはじめとした来訪者の増加が見込まれることから、全ての利用者が利用しやすい環境づくりの方策を模索していくべきである。
- ・ 競技場整備にあつては、区内実施競技への特化により既存のスポーツ施設利用者の使用機会が損なわれることの無いよう、留意すべきである。

などの意見が出されています。

当区議会としましては、競技会場として区内でオリンピック競技が実施される事を歓迎する一方で、交通量の増加や公園の利用者層の変化など、大会に前後して顕在化が予想される諸課題への対応策等について、多面的な検討を進めていただきたいと考えています。

つきましては、オリンピック競技を区内で実施していただく際の競技場周辺整備に当たり、品川区議会として下記の事項を強く要望いたします。

記

- 1 オリンピック競技会場整備においては、現在の老朽度や使用頻度を踏まえた有効活用策を検討されたい。
- 2 各施設の老朽化への対応と併せて、利用者の意見を反映し、野球・サッカー・テニスなど利用率や抽選倍率の高い競技種目のグラウンドやコートを増設を図られたい。
- 3 競技実施区として、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした区民の更なるスポーツ振興を実現する為、公園の品川区民への優先利用等の施策を拡充されたい。
- 4 競技場は競技大会閉幕後の利活用を念頭に、実施競技のみならず、多目的な利用に適う構造とし、その呼称についても、『オリンピック』や『品川』等の名を冠するなど、区内競技会場としての位置づけを明確化することで、レガシーとしての意味を残されたい。
- 5 交通の混雑への対応、公園内および各施設を利用する際の動線のバリアフリー化、案内表示の多言語化やデザインの統一性、来場者数の増加を見込んだ駐車スペースの確保および周辺の無電柱化などについて、十分な検討を図られたい。
- 6 大井ふ頭中央海浜公園のドッグランについては、代替施設等により、会場整備後も十分に従前の機能を確保できるよう留意されたい。また、クラブハウスについては、イベント拠点としての機能を持たせるなど、多機能かつ利便性に優れた施設整備を検討されたい。

以上

平成28年10月25日

品川区議会議長 大 沢 真 一

東京都オリンピック・パラリンピック準備局長 塩見 清仁 様